



南アルプス市立 白根飯野小学校 学校だより
学校教育目標
「郷土を愛し、たくましく生きぬく子ども」

11月号
令和2年11月 2日
編集 校長 岡こすえ

www.iino.m-alps.ed.jp/ 白根飯野小学校学校ホームページにも毎月掲載しています

学習、運動、4連休…2学期後半の生活を楽しく過ごそう！

校庭の木々や近くの山々が秋色に色づきはじめ、何をするにも気持ちの良い季節になりました。10月には、1年生は、生活科見学として笛吹市の「金川の森」や2年生ペアと一緒にループ橋まで出かけて秋の自然を満喫してきました。2年生は、「生活科地区探検」として、徒歩で桃源文化ホールや図書館などに行き、地域の施設を訪ねました。そして、3年生は、保護者の方々のご協力をいただきながら「自転車教室」で安全運転の技術を身につけたり、社会科見学として「はくばく」工場や市内の消防署を見学するなどして現地での学習を深めることができました。また、4年生は、市教育委員会文化財課の斎藤さんを講師としてお招きし、郷土が誇る治水事業である徳島堰（せぎ）の学習を行うなど、それぞれの発達段階に応じたカリキュラムにもとづき、校外学習を取り入れた教育課程を積極的に展開してきました。

先週は、市内小学校での感染者確認の突然の知らせに、保護者の皆様方には多大なご心配をおかけいたしました。濃厚接触者ではなかったものの、その後のPCR検査において、全員が陰性であることが確認されております。本校におきましても、今後も手洗いの励行や、飛沫拡散防止等の対策をしながら、子どもたちの心豊かな成長につながる教育活動を行っていきたいと考えています。

折しも、本日から校舎内の消毒作業、給食リフト補助、樹木や草木・花壇・畑などの環境整備等、教員業務を補助する「南アルプス市スクール・サポート・スタッフ」として入倉修さんにご勤務いただいています。入倉さんは伐採作業やネイチャー・ガイドの資格もお持ちなので、自然が大好きな本校の子ども達にもたくさんのお話を教えていただけることと思います。

先週の金曜日、「学校が楽しい100%」をキーワードに教育活動を行っている本校で、児童会主催の「飯野小 ザ・ハロウィン」が行なわれました。オープニングとエンディングには、6年生のダンスチームが息のあったパフォーマンスをしてくれました。中休みの短い時間ではありましたが、児童会本部役員の皆さんが、コロナ禍でも楽しめるようにと色々と工夫して計画を立て、的確に指示を伝えてくれたおかげで、児童だけでなく教職員も楽しい時間を過ごすことができました。

11月になり、もう一つうれしいお知らせがあります。それは、給食の献立がほぼ平常に戻ったことです。校長は、「検食簿」といって、毎日の料理の一つ一つについて、加熱状態や味付け、色彩、異味、異臭、量をチェックし、所見を書くことになっているのですが、これまでは作っていただいていることに感謝しつつも苦言を呈することも少なからずあり、申し訳なく思っていました。食生活が充実していると、大人もモチベーションが上がります。読書の秋、担任以外の先生が教室に行って皆さんに読み聞かせも計画しています。よく食べ、よく体を動かして、集中して学習できるといいですね。何事もバランスが大切です。今月も充実した日々を過ごしましょう。



市内一斉あいさつ運動について（お知らせ）



8月末の「白根地区あいさつ運動」に続き、今回は市内一斉あいさつ運動として、飯野地区では本校東門、西門の2か所と白根巨摩中学校北門で、飯丘地区では、富士電機南西付近（107号線と徳島せぎの交差点）及び飯塚商店付近交差点で行ないます。

日頃より子どもたちの登下校の際には、見守り隊やボランティアなど多くの方々に見守られているおかげで、大きな事故もなく安全に過ごすことができます。児童の多くは、校内では元気にあいさつしてくれていますが、校外ではいかがでしょうか。ご自宅の前や地域の各地で多くの皆様にお声をかけていただけるとありがたいです。

